秋田大学
国際交流センターニュース 第23号
Akita University International Exchange Center News

2017年３月10日発行

・協定校・表敬訪問 … (1)・(2)
・留学生・地域交流 …… (3)
・国際交流センターから …… (4)

研究者海外派遣事業

平成27年度秋田大学研究者海外派遣事業により，2016年3月28日から約4ヶ月半にわたり，イングランド南部にあるレディング大学で研究を行ってまいりました。私の研究課題は「20世紀「北イングランド」演劇における地域産業と労働者階級の表象に関する研究」であり，担当教員ピーター･ロビンソン教授の指導の下，私が所属した「英文学科」と「映画・演劇・テレビ研究学科」が保有する豊富な演劇関連図書を活用し，大変有意義な研究を行うことができました。

またレディングは，首都ロンドンへは早い電車で30分ほどと近いため，演劇研究において重要な資料館（たとえば、国立劇場文書庫やヴィクトリア&アルバート博物館演劇資料室など）をたびたび訪れ，さらには研究対象地域である北イングランドの関連施設（国立イングランド炭坑博物館や労働者階級運動図書館など）まで足を伸ばし，未刊行の貴重な資料（台本，チラシ，プログラム，公演関連書類など）を閲覧したり，入手することができたのは大変有益でした。

レディング大学

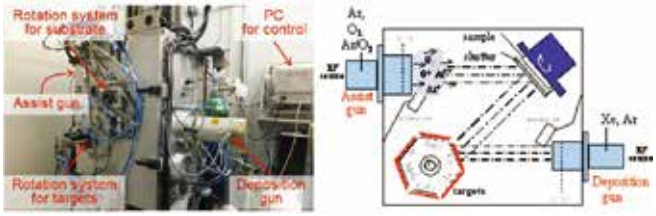
今後は，今回資料を収集してきた炭坑業に関わる英国北部の演劇活動についての研究成果をまとめるとともに，サッチャー首相時代の一大事件「炭鉱ストライキ」（1984）が生んだ数多くの文化表象一般についてまとまった研究ができればと考えております。最後になりますが，このような得難い経験をする機会を与えてくださった関係各位に心より御礼申し上げます。

（大西　洋一：Onishi Yoichi　教育文化学部 准教授）

研究者海外派遣事業

2016年2月上旬から6月末までの約5カ月，ポルトガル・リスボン市の私立研究所，INESC Microsistemas e Nanotecnologias（機関長はPaulo Freitas博士でリスボン大学の教授も兼任）に滞在し，高機能材料薄膜の作製に関する実験を行いながら，薄膜の電子デバイス応用に向けた多層構造化や素子構造化に関する技術を学んでまいりました。写真は,実際に使用させて頂いた,作製中の薄膜に種々のエネルギー準位のイオンを照射することが可能な特殊な薄膜作製装置です。本装置を用いて，薄膜形態での作製が難しいとされてきた，特殊な結晶構造を有する磁気および電気特性に優れた酸化物薄膜を形成することに成功しました。今現在,本材料の薄膜デバイス応用に関する検討を行っております。滞在中は，自分自身で実験し，得られた最新データについて，グループ全体で行う定例の実験進捗ミーティングで報告し，皆と議論をしておりました。本経験を通じて，英語で，端的かつ正確に客観的情報と主張を伝える，という技術を身につけることもできました。このようなすばらしい結果と経験を得る機会を与えて頂いた本事業に，大変感謝しております。

（吉村　哲：Yoshimura Satoru　理工学研究科 准教授）



実験に用いた薄膜作製装置の写真とその模式図

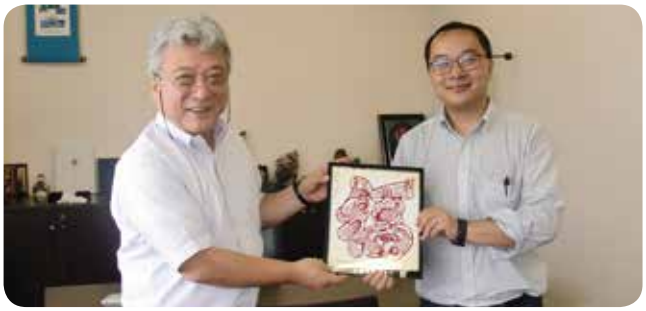
蘭州大学職員相互派遣

職員相互研修協定に基づき,2016年9月14日から12月9日まで中国・蘭州大学職員の郭明宙さんが秋田大学国際課で研修を行いました。郭さんは日本語の授業を受けながら,「実践中国語会話Ⅰ」でのアシスタント業務や秋田大学職員を対象とした中国語講座等を行いました。郭さんの研修報告書は国際交流センター HPで公開されています。
http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/in_haken.html

（国際課　国際企画担当）

「初めて秋田に来た時3ヶ月の研修はとても長いと感じましたが,様々な活動や充実した研修内容のおかげで過ぎるのが早く感じました。思い返してみると,毎日新しい収穫がありました。全ての活動が新しい体験をもたらしました。授業中に優しく丁寧に接してくれた学生たちに感謝しています。秋田での滞在中,優しい気配りと無私の援助をしてくださった国際交流センターの同僚の皆さんありがとうございます。彼らのおかげで,より実際的に日本文化を体験することができました。ありがとうございます。また会える日を楽しみにしています。」

（郭明宙：Mingzhou Guo　蘭州大学職員）


佐藤時幸国際交流センター長を表敬する郭明宙職員（右）

日本留学フェア

ベトナム

10月15日と16日にベトナムで開催された日本留学フェアに参加しました。秋田大学には現在27名のベトナム人留学生が在籍しています。その数は中国，マレーシアに次いで3番目に多く，ベトナムがいかに親日的であるかを感じさせられます。

今回の留学フェアはハノイ，ホーチミンの2か所で1日ずつ開催され，入場者数は両会場合わせて約3000人でした。本学のブースにも約50名の日本留学希望者が訪れ，熱心に話を聞き，質問をする様子が見てとれました。

10月17日にはホーチミンにあるドンズー日本語学校のビンミー留学生センターにて本学の説明を行いました。約200名の学生が参加し，秋田大学の概要説明や秋田大学に通うベトナム人留学生からのメッセージに熱心に耳を傾けていました。

留学フェア，ドンズー日本語学校での説明会共に，参加学生は非常に真面目で，日本に進学したいという強い気持ちが伝わってきました。今回のフェア及び説明会を本学に進学するきっかけとしてくれることを期待しています。

（小松　みずほ：Komatsu Mizuho　国際課留学生交流・支援担当）

インドネシア

インドネシアにおける日本留学フェアは10月30日にジャカルタ市にて開催されました。日本からは大学等77機関が参加し，秋大ブースには合計55名の高校生・大学生が来訪しました。多く見られた質問内容としては，英語講義の有無，奨学金，入学者選抜方法，医師・看護師免許についてなどで，学生から日本での就学への強い熱意が感じられました。また，相談に訪れた高校生の多く日本語を履修しており，積極的に日本語を話そうとする意思が感じられました。

翌日には本学が国際交流協定を2015年に結んだジョグジャカルタ市のガジャ・マダ大学を訪問しました。現地では，同大学教員で昨年度国際資源学部に客員研究員として滞在したKhasani博士をはじめ，機械工学科の教員数名と面談を行い，情報交換をするとともに留学生受入のPRを行いました。また，藤井が同学科の大学院生・学生約50人を対象に地中熱利用に関する授業を行い，インドネシアでは未普及の同技術を紹介しました。

（藤井　光：Fujii Hikari　国際資源学部 教授）

マレーシア

12月17，18日にクアラルンプールにおいて，JASSO日本留学フェアに参加してきました。2日間で約70組が本学ブースに立ち寄ってくれました。来場者の約4割が大学院留学志望者であり，多くが英語での学習や研究を希望していました。指導教員の意向によっては英語対応が可能であるので，入試課連絡先を案内しましたが，大学院留学者の増加のためには，英語のみで全課程を終えられるカリキュラムの立ち上げが待たれます。

学部留学ではマレーシアからの場合，留学のための予備校に入学して日本語他を学習するのが通常であり，語学の問題はある程度解消されます。続く19，20日には帝京マレーシア学院において説明会を行いました。筆者は19日のみの参加でしたが，来場者は出願先を検討中の学院の生徒が中心であり，出願を左右する重要な広報活動です。全日程を通じて留学生のための奨学金の有無について多数質問されました。授業料免除制度の拡充と制度の明確な説明が必要となってくるでしょう。JABEEに関する質問を受けたことからわかるように，本学のカリキュラムに対する評価は高く，奨学金制度や自治体のサポートなどの周辺情報の提供を効果的に行ってゆけば，一層の留学生の増加が期待できるものと思います。

（三島　望：Mishima Nozomu　大学院理工学研究科共同ライフサイクルデザイン工学専攻 教授）

グリフィス大学留学記

こんにちは。教育文化学部地域文化学科人間文化コースの伊藤澪未です。私は，2016年7月から一年間，オーストラリアのグリフィス大学に留学しています。オーストラリアは南半球に位置する大陸で，日本と季節は真逆です。キャンパスがあるゴールドコーストは一年を通して温暖です。また，移民国家であり，様々な人種の人が暮らしています。街には各国の料理のレストランがあります。

グリフィス大学はゴールドコーストとブリスベンにキャンパスがあります。私は7月から11月のSemester2はゴールドコーストキャンパスに通っていましたが，2月から6月のTrimester1はブリスベンのキャンパスに通います。大学の設備は充実していて，カフェやレストランが数店舗あるのに加え，ジムやプール，美容院もあります。生徒のサポートも手厚く，海外出身の学生には英語を勉強するためのサービスが提供されています。留学生は3～5の授業を取ることができます。1つのコースには講義とチュートリアルがあり，1週間に3時間ほどそのコースの授業を受けます。課題はレポートや事前に読む本や論文が主になります。読む量が多いので，最初は苦戦しました。

私生活の面では，私はシェアハウスをネットで探し，住んでいます。また，日本食レストランでアルバイトもしていて，貯めたお金で旅行に出かけています。

オーストラリアは日本人にとって住みやすい国だと思います。留学に興味のある人はぜひ，グリフィス大学に留学してみてください。

本人左から4番目
同じキャンパスに通う香港人の友達と

（伊藤　澪未:Ito Reimi　教育文化学部地域文化学科人間文化コース）

第三の故郷を見つける農家民泊2016

秋田地域留学生等交流推進会議は10月と11月の2回にわたり「第三の故郷を見つける農家民泊」を実施しました。本事業は今年度で8回目の開催となります。秋田地域の留学生と日本人学生が仙北市西木町を訪れ，農業体験や農家民泊を体験しました。

2016年の初秋，仙北市にある農家に訪れました。私は別の大学の3人と一緒に農家の佐藤家に泊まりました。私たちにとって初めての日本の農家体験でした。着いたのはお昼の時間で，お昼のメニューは秋田の名物「きりたんぽ」，早速みんなきりたんぽを作り始めて，自家製のあきたこまちを使ってプロの佐藤さんの指導下で初心者の私たちはうまくできました！

お昼の後は畑見学で，夕飯のために野菜を自分の手で抜き出しました。畑で私の大好きなカエルがたくさんいました。花の上に立ってとても可愛かった！畑仕事と言えばトラックが人気で，私たち学生はトラックで畑仕事をしました。もちろん免許は要りません。畑で汗をかいて，近くの温泉に入りました。農家の生活はいいなと思いました！

夕飯は私たちが抜き出した野菜ときりたんぽ鍋で，美味しい料理を食べながら秋田や外国のことについて話しました．翌日は交流館でほかの学生たちと合流，ほかの家の郷土料理も食べることができました！最高な週末でした！

（李　韜瀚：Li Taohan　工学資源学部 4年）

もちつき

12月12日に秋田大学生協食堂で，留学生体験事業「日本のもちつき」を実施しました。初めてもちつきをする学生も多く，杵の重さに驚きながらも，協力いただいた三吉南・田中・大沢町内会の皆さまからつき方を教わり，一生懸命にそして楽しく餅をつきました。

つきあがった餅は，あんこ餅やお雑煮にして参加者皆で試食しました。自分たちでついたつきたての餅に皆舌鼓を打っていました。終了後には参加者から，とても美味しかった。とても楽しかったとの声を聞くことができました。

（国際課　留学生交流・支援担当）

小玉醸造見学会

1月21日に，留学生・日本人学生12名で小玉酒造を見学しました。これは，潟上市豊川地区の草木谷で行われている「田んぼの学校」の一環です。5月に田植えをし，10月に稲刈りをした酒米が小玉酒造で日本酒となる過程を学びました。

1月21日に小玉醸造見学会に参加しました。小玉醸造では，清酒太平山，ヤマキウみそ・しょうゆの蔵の見学をさせて頂きました。蔵を見るだけではなく，働いている方のお話も聞くことができ，私の知らなかった世界だったと思えるようなとても貴重な体験をすることができました。

醸造の見学を通して，たくさん印象に残るものがありましたが，私は杉玉の説明に興味を惹かれました。見たことがあっても意味を知らなかったため，杉玉を吊るすことで新酒が出来たことを知らせ，蒼々としている杉玉が枯れて茶色になることで熟成具合を知るという説明が印象に残っています。

また，私以外は留学生の方々でしたが，とても親しみやすく，普段なかなか交流することができない方ともお話することができました。コミュニケーションの重要性だけではなく，その楽しさも学べたように思えます。またこのような機会があれば是非参加したいです。

（堀江　瞬:Horie Shun　理工学部物質科学科応用化学コース）

ぼんでん祭り

毎年1月17日に太平山三吉神社で開催される梵天祭（ぼんでんまつり）は秋田の冬の風物詩です。今年も30名ほどの留学生が参加し，新年の願いや祈りをこめて梵天を神社に納めました。

My experience in this festival was really great. I've seen a lot of new things from this festival. I've also heard that this festival is unique to Akita Prefecture only. In Bonden Festival, each group of people have the chance to carry a Bonden Wand and bring it to the inside of a temple. Each group entrusts the Bonden with their prayers for a good harvest, good health, and success for their businesses. I've also seen men fight each other since they were drunk that time, and the cause of their fight maybe because both of them are trying to reach the inside of temple first. After the carrying of Bonden, it was followed by 4 people inside a Namahage costume and performed in the middle of the crowd. For the finale, some people started throwing some lucky charms and fruits to the crowd. Most of the people were trying really hard to get one from the thrown stuff since they believed it is good luck. After all this, “Supporting Society for the Korea Students in Akita”（秋田・韓国留学生支援会）gave us free delicious lunch. Even though it was cold that day, I felt the warm kindness of people from Akita. I'm really thankful to them since we get to experience a festival unique to Akita.

（サヤン・ヴィラリン：Cyan Villarin　国際資源学部 特別聴講学生）

留学生会館OPEN DAY

1月11日，本学の外国人留学生が暮らす留学生会館（学生寮）で，近隣の地域住民を対象とした「秋田大学留学生会館OPEN DAY!!」を開催しました。当日は子どもを連れた地域住民の方々が訪れ，自己紹介ゲームや館内ツアー，出身国紹介スタンプラリーなどを通じて留学生とのイベントを楽しみました。

My name is Nouman Zobby. I am from Pakistan. I am an International Student in Akita University Tegata Campus. International Exchange Center always organizes knowledgeable activities for the students that learn Japanese language as an exchange student in a great manner. By such skillful activities students learn the custom and culture of Japan and language more efficiently and easily in a short time period. During learning Japanese language under course of “Second level Japanese language speaking skill” International Exchange Center organized an activity “International House OPEN DAY” on January 11th.

In this activity primary class student from Akita city Higashi elementary school visited the International Student House (dormitory). During this activity my Japanese Teacher “MIKI HIRATA” assigns me a task to share and presents my Country culture and custom as well as social life of civilian people in Japanese language which is the great interesting task for me to show my country’ s beautiful scenery, living tradition and climate of my country. Along that showing my Country’ s life and compare with Japanese life style is a great experience for me.

During this activity the students of elementary school get so close and friendly with me and ask so cute questions related to Islamic religion life pattern and about special foods to those I answered and they all getting astonish and vigorous to ask more by showing interest. During presentation I show them beautiful pictures of my country tourism point of view by which all students look cheerful and enjoy listening about Pakistan in their native language.

（ゾビー・ノウマン:Zobby Nouman　国際資源学研究科 博士前期1年）

平成28年度2期秋田大学外国人留学生修了記念パーティー

2月2日，71名の留学生を対象に，「平成28年度2期外国人留学生修了記念パーティー」を実施しました。在学生や教職員のほかに，留学生を支援してくださっている団体の方々および近隣住民も参加し，留学生の修了を祝いました。留学生のみなさんが日本語・日本文化の習得，大学生活や地域社会との交流を通してたいへん有意義な経験を得たことを，修了生の挨拶から窺い知ることが出来ました。修了生の今後の更なる活躍を心より期待しています。

（国際課　留学生交流・支援担当）

秋田地域留学生等交流推進会議

12月1日「平成28年度秋田地域留学生等交流推進会議」が秋田大学手形キャンパスにて行われました。この会議は秋田県内における留学生等の受け入れや国際交流活動の推進を図るために年１回行われています。会議後に大学会館で行われた懇親会には,会議参加者及び秋田大学・秋田県立大学・ノースアジア大学・秋田工業高等専門学校に留学中の学生が集い,国や学校の垣根を越えて親交を深めました。

（国際課　国際企画担当）

北東北国立３大学学生合同合宿研修会

11月19日・20日，岩手山青少年交流の家において，秋田大学，弘前大学，岩手大学の3大学の約80名（留学生と日本人学生が半々）で，学生合同合宿研修を実施しました。これは，北東北国立3大学の国際教育連携事業として，平成17年度より，3大学持ち回りで主催し継続実施している合宿研修事業で，今回で11回目を迎えました。留学生と日本人学生が多文化状況における共同作業等を通じ，コミュニケーションに必要な知識，技能を習得し，意識を高めることを目的として実施しています。秋田大学からは「多文化間交流論Ⅱ」の受講生19名（うち留学生14名）が参加。具体的な活動としては，アイスブレークに続いて，大学・出身等の混成チームでの共同作業を行い，多文化状況で合意形成し，目標達成するまでのプロセスを経験しました。

（宮本　律子：Miyamoto Ritsuko　国際資源学研究科 教授）

専任教員よりひとこと

2017年2月24日（金）に第3回秋田日本語教育研究会が国際教養大学で行われました。本研究会は2016年6月に，日々の研究や教育実践の発表の場として，普段の教育活動の中での疑問や悩み・アイデアを共有する場として，また，秋田の日本語教育関係者のネットワークを広げる場として発足しました。まだ立ち上がったばかりの小さな研究会ですが，堅苦しすぎず，活発な意見交換ができる場として徐々に知られつつあります。今後も秋田の日本語教育のために活動を継続させていきたいと思います。次回は6月開催予定です。詳しくは研究会のホームページ（http://akitankk1.blogspot.jp/）をご覧ください。

（佐々木　良造：Sasaki Ryozo　国際交流センター　助教）

■国際交流協定校情報

大学間協定（合計30ヶ国・地域：57大学等）　部局間協定（合計9ヶ国・地域：16学部等）　（2017年2月1日現在）

■秋田大学の留学生数

合計198名　学部生：88名　大学院生：69名　交換留学生・研究生等：41名　（2016年10月1日現在）

発行者：国立大学法人秋田大学国際交流センター　〒010-8502　秋田県秋田市手形学園町1-1
TEL: 018-889-2856 FAX: 018-889-3012 Email: kokusai@jimu.akita-u.ac.jp http://www.pcix.akita-u.ac.jp/inter/index.html